

バックアップおよび復元 ユーザー ガイド

© Copyright 2009 Hewlett-Packard
Development Company, L.P.

Windows は、米国 Microsoft Corporation の
米国およびその他の国における登録商標で
す。

本書の内容は、将来予告なしに変更される
ことがあります。HP 製品およびサービスに
関する保証は、当該製品およびサービスに
付属の保証規定に明示的に記載されてい
るものに限られます。本書のいかなる内容
も、当該保証に新たに保証を追加するも
のではありません。本書に記載されてい
る製品情報は、日本国内で販売されてい
ないものも含まれている場合があります。本書の
内容につきましては万全を期しております
が、本書の技術的あるいは校正上の誤り、
省略に対して責任を負いかねますのでご了
承ください。

初版：2009 年 8 月

製品番号：539894-291

製品についての注意事項

このユーザーガイドでは、ほとんどのモデ
ルに共通の機能について説明します。一部
の機能は、お使いのコンピューターでは使
用できない場合があります。

目次

1 概要	
2 リカバリ ディスクの作成	
3 情報のバックアップ	
Windows の[バックアップと復元]の使用	5
システムの復元ポイントの使用	6
復元ポイントを作成するとき	6
システムの復元ポイントの作成	6
以前のある日時の状態への復元	6
4 復元の実行	
リカバリ ディスクからの復元	7
専用の復元用パーティションからの復元（一部のモデルのみ）	8
索引	9

1 概要

障害が発生した後にシステムの復元を実行すると、最後にバックアップを行ったときの状態が復元されます。システムを導入後、最初のソフトウェアのセットアップが終了したら、すぐにリカバリ ディスクを作成することをおすすめします。その後も、新しいソフトウェアやデータ ファイルの追加に応じて定期的にシステムをバックアップし、適切な新しいバックアップを作成しておくようにしてください。

オペレーティング システムに組み込まれているツールおよび[HP Recovery Manager] (HP リカバリ マネージャ) ソフトウェアは、システムに障害が発生した場合に以下のタスクによって情報を保護および復元できるように設計されています。

- リカバリ ディスクを作成します ([HP Recovery Manager]ソフトウェアの機能)。システムに障害が発生した場合または動作が不安定になった場合に、リカバリ ディスクを使用して、お使いのコンピューターを起動 (ブート) し、オペレーティング システムとソフトウェアを修復することができます。
- 重要なシステムファイルを保護するために定期的に情報をバックアップします。
- システムの復元ポイントを作成します (オペレーティング システムの機能)。システムの復元ポイントを使用すると、以前の状態までコンピューターを復元することで、コンピューターへの望ましくない変更を元に戻すことができます。
- プログラムまたはドライバーを復元します ([HP Recovery Manager]ソフトウェアの機能)。この機能は、システム全体の復元を実行しないでプログラムまたはドライバーを再インストールするために役立ちます。
- システム全体を復元します ([HP Recovery Manager]ソフトウェアの機能)。[HP Recovery Manager]を使用すると、システムに障害が発生した場合や動作が不安定になった場合、オペレーティング システムとソフトウェアを修復することができます。[HP Recovery Manager]は、ハードドライブ上の専用の復元用パーティション (一部のモデルのみ) またはユーザーが作成したリカバリ ディスクから実行できます。

 **注記：** SSD (Solid State Drive) が搭載されているコンピューターには、復元用パーティションがない可能性があります。復元用パーティションがないコンピューターには、リカバリ ディスクが付属しています。オペレーティング システムおよびソフトウェアを復元するには、これらのディスクを使用します。復元用パーティションの有無を確認するには、**[スタート]**を選択し、**[コンピューター]**を右クリックして**[管理]→[ディスクの管理]**の順にクリックします。復元用パーティションがある場合、ウィンドウに HP リカバリ ドライブが表示されます。

2 リカバリ ディスクの作成

システムに重大な障害が発生した場合や動作が不安定になった場合にシステムを工場出荷時の状態に復元できるように、リカバリ ディスクを作成しておくことをおすすめします。リカバリ ディスクは、コンピューターを最初にセットアップした後、なるべく早く作成してください。

リカバリ ディスクは慎重に取り扱い、安全な場所に保管してください。ソフトウェアを使用して作成できるリカバリ ディスクは1セットのみです。

 **注記：** お使いのコンピューターにオプティカルドライブが内蔵されていない場合は、外付けオプティカルドライブ（別売）を使用してリカバリ ディスクを作成するか、またはHPのWebサイトからお使いのコンピューターに適切なリカバリ ディスクを購入できます。

リカバリ ディスクを作成するには、事前に以下のガイドラインを確認してください。

- 高品質なDVD-R、DVD+R、BD-R（書き込み可能なブルーレイディスク）、またはCD-Rディスクを用意する必要があります。これらのディスクは、すべて別売です。DVDおよびBDには、CDよりはるかに大きな容量を書き込むことができます。CDを使用すると最大20枚のディスクが必要になる場合でも、DVDまたはBDでは数枚のみで済みます。

 **注記：** [HP Recovery Manager]（HPリカバリマネージャ）ソフトウェアは、CD-RW、DVD±RW、2層記録DVD±RW、およびBD-RE（再書き込み可能なブルーレイ）ディスクなどのような書き換え可能なディスクには対応していません。

- このプロセスでは、コンピューターを外部電源に接続する必要があります。
- リカバリ ディスクは、1台のコンピューターに対して1セットのみ作成できます。
- オプティカルドライブにディスクを挿入する前に、各ディスクに番号を付けておいてください。
- 必要に応じて、リカバリ ディスクの作成が完了する前に、プログラムを終了させることができます。次回[HP Recovery Manager]を起動すると、ディスク作成プロセスを続行するか尋ねられます。

リカバリ ディスクを作成するには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[Recovery Manager]（リカバリ マネージャ）→[Recovery Disc Creation]（リカバリ ディスク作成）の順に選択します。
2. 画面に表示される説明に沿って操作します。

3 情報のバックアップ

新しいソフトウェアやデータ ファイルの追加に応じて定期的にシステムをバックアップし、適切な新しいバックアップを作成しておくようにしてください。以下のようなときに、システムをバックアップします。

- 定期的にスケジュールされた時刻

 **注記：** 情報を定期的にバックアップするようにリマインダーを設定します。

- コンピューターを修復または復元する前
- ハードウェアまたはソフトウェアを追加/変更する前

バックアップを行う場合は、以下の点を参考にしてください。

- Windows®の[システムの復元]機能を使用してシステムの復元ポイントを作成し、定期的にディスクにコピーします。
- 個人用ファイルを[ドキュメント]ライブラリに保存し、このフォルダーを定期的にバックアップします。
- 関連付けられたプログラムに保存されているテンプレートをバックアップします。
- カスタマイズされているウィンドウ、ツールバー、またはメニュー バーの設定のスクリーンショット（画面のコピー）を撮って保存します。設定をリセットする必要がある場合、画面のコピーを保存しておくで時間を節約できます。

画面をコピーしてワープロ文書などに貼り付けるには、以下の操作を行います。

1. 画面を表示します。
 2. 表示されている画面を、クリップボードに画像としてコピーします。
アクティブなウィンドウのみをコピーするには、**alt + fn + prt sc** キーを押します。
画面全体をコピーするには、**fn + prt sc** キーを押します。
 3. ワープロ ソフトなどの文書を開くか新しく作成して[編集]→[貼り付け]の順に選択します。
 4. 文書を保存します。
- 情報は、別売の外付けハードドライブ、ネットワーク ドライブ、またはディスクにバックアップできます。
 - ディスクにバックアップする場合は、以下の種類の別売のディスクを使用できます。CD-R、CD-RW、DVD+R、DVD-R、および DVD±RW。使用できるディスクの種類は、お使いのコンピューターに取り付けられているオプティカル ドライブの種類によって異なります。

 **注記：** DVD を使用すると、CD より保存できる情報量が増えるため、バックアップに必要なリカバリ ディスクの数が少なくなります。

- ディスクにバックアップする場合は、各ディスクに番号を付けてからコンピューターのオプティカルドライブに挿入します。

Windows の[バックアップと復元]の使用

Windows の[バックアップと復元]を使用してバックアップを作成するには、以下の操作を行います。

 **注記：** お使いのコンピューターが外部電源に接続されていることを確認してから、バックアップ処理を開始してください。

注記： ファイルのサイズやコンピューターの処理速度に応じて、バックアップ処理には 1 時間以上かかることがあります。

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[メンテナンス]→[バックアップと復元]の順に選択します。
2. 画面の説明に沿って操作し、バックアップを設定および作成します。

 **注記：** Windows には、コンピューターのセキュリティを高めるためのユーザー アカウント制御機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザーのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

システムの復元ポイントの使用

システムをバックアップする場合は、システムの復元ポイントを作成します。システムの復元ポイントによって、特定の時点でのハードドライブのスナップショットに名前を付けて保存できます。復元ポイント作成後にシステムに加えた変更を破棄したい場合に、そのポイントまで戻ってシステムを回復できます。

 **注記：** 以前の復元ポイントに復元しても、最後の復元ポイント後に作成されたデータ ファイルや電子メールには影響がありません。

また、追加の復元ポイントを作成して、システム ファイルおよび設定の保護を強化できます。

復元ポイントを作成するとき

- ソフトウェアやハードウェアを追加または大幅に変更する前
- システムが最適な状態で動作しているとき（定期的に行います）

 **注記：** 復元ポイントまで戻した後に考えが変わった場合は、その復元を取り消すことができます。

システムの復元ポイントの作成

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]→[システム]の順に選択します。
2. 左側の枠内で、[システムの保護]をクリックします。
3. [システムの保護]タブをクリックします。
4. [保護設定]の下で、復元ポイントを作成するディスクを選択します。
5. [作成]をクリックします。
6. 画面に表示される説明に沿って操作します。

以前のある日時の状態への復元

コンピューターが最適な状態で動作していた（以前のある日時に作成した）復元ポイントまで戻すには、以下の操作を行います。

1. [スタート]→[コントロール パネル]→[システムとセキュリティ]→[システム]の順に選択します。
2. 左側の枠内で、[システムの保護]をクリックします。
3. [システムの保護]タブをクリックします。
4. [システムの復元]をクリックします。
5. 画面に表示される説明に沿って操作します。

4 復元の実行

 **注記：** ファイルの復元は、以前バックアップを行ったファイルに対してのみ可能です。お使いのコンピューターをセットアップしたらずぐに、[HP Recovery Manager] (HP リカバリ マネージャ) を使用してリカバリ ディスクのセット (ドライブ全体のバックアップ) を作成することをおすすめします。

システムに障害が発生した場合やシステムが不安定になった場合、[HP Recovery Manager]ソフトウェアを使用してシステムを修復または復元できます。[HP Recovery Manager]は、リカバリ ディスクまたはハードドライブ上の専用の復元用パーティション (一部のモデルのみ) から実行できます。ただし、お使いのコンピューターに SSD (Solid State Drive) が搭載されている場合、復元用パーティションがない可能性があります。その場合、コンピューターにはリカバリ ディスクが付属しています。オペレーティング システムおよびソフトウェアを復元するには、これらのディスクを使用します。

 **注記：** Windows は、[システムの復元]機能など、独自の修復機能を備えています。これらの機能をまだ試していない場合は、試してから[HP Recovery Manager]を使用してください。

注記： [HP Recovery Manager]では、出荷時にプリインストールされていたソフトウェアのみが復元されます。このコンピューターに付属していないソフトウェアは、製造元の Web サイトからダウンロードしたファイルまたは製造元から提供されたディスクから再インストールする必要があります。

リカバリ ディスクからの復元

リカバリ ディスクからシステムを復元するには、以下の操作を行います。

1. すべての個人用ファイルをバックアップします。
2. 1 枚目のリカバリ ディスクをオプティカル ドライブに挿入し、コンピューターを再起動します。
3. 画面に表示される説明に沿って操作します。

専用の復元用パーティションからの復元（一部のモデルのみ）

 **注記：** SSD（Solid State Drive）が搭載されているコンピューターには、復元用パーティションがない可能性があります。コンピューターに復元用パーティションがない場合は、以下の手順による復元はできません。パーティションがないコンピューターには、リカバリ ディスクが付属しています。オペレーティング システムおよびソフトウェアを復元するには、これらのディスクを使用します。

一部のモデルでは、[スタート]ボタンをクリックするか、**f11** キーを押して、ハードドライブ上のパーティションから復元を実行できます。この操作によって、コンピューターが工場出荷時の状態に戻ります。

復元用パーティションからシステムを復元するには、以下の操作を行います。

1. 以下のどちらかの方法で[HP Recovery Manager]（HP リカバリ マネージャ）にアクセスします。
 - [スタート]→[すべてのプログラム]→[Recovery Manager]（リカバリ マネージャ）→[Recovery Manager]（リカバリ マネージャ）の順に選択します。または
 - コンピューターを起動または再起動し、画面の下に[Press the ESC key for Startup Menu]というメッセージが表示されている間に **esc** キーを押します。次に、[Press <f11> for recovery]というメッセージが表示されている間に、**f11** キーを押します。
2. [Recovery Manager]（リカバリ マネージャ）ウィンドウの[System Recovery]（システムの復元）をクリックします。
3. 画面に表示される説明に沿って操作します。

索引

- F**
f11 8
- H**
HP Recovery Manager 1, 7
- S**
SSD (Solid State Drive) 1, 7, 8
- さ**
サポートされるディスク 2
- し**
システム全体の復元 1
システムに障害が発生した場合や動作が不安定になった場合 1
システムの復元 1, 7
システムの復元の使用 6
システム復元ポイント 1, 6
情報の保護 1
- せ**
専用の復元用パーティションからの復元 8
- は**
バックアップ
カスタマイズされているウィンドウ、ツールバー、およびメニューバーの設定 3
個人用ファイル 3
テンプレート 3
- ふ**
復元の実行 7
復元ポイント 6
復元用パーティション 1
復元
システム 1, 7
- プログラムまたはドライバーの復元 1
- り**
リカバリ ディスクからの復元 7
リカバリ ディスク 1, 2

